

年度/Academic Year	2020
授業科目名/Course Title (Japanese)	情報システムのプログラムマネジメント
教員名/Instructor (Japanese)	居駒 幹夫
講義概要/Course description	
<p>情報システム開発に限らず、現在の企業では、業務をプロジェクト型に移行することが多い。これは、定型化した仕事の繰り返しでは変化の早い現在のビジネススピードに追従できないことによる。本講義では、複数のプロジェクト型の業務を全体統合して効率よく運営し、ビジネスの成果に結びつけるプログラムマネジメントの知識を講義と演習により習得する。本科目は、e-Learning科目として実施する。</p>	
達成目標/Course objectives	
<p>本講義を通して受講者に以下のような知識・能力がつくことを目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト、プログラムの定義を説明することができる ・プロジェクトマネジメント、プログラムマネジメントのプロセス、知識、成果物を説明することができる ・プログラムの計画を立案することができる 	
授業計画/Lecture plan	
講義回	
1	ガイダンス。イントロダクション、プロジェクトとは何か？プログラムとは何か？
2	プロジェクトの特性とマネジメントの必要性、プロジェクトマネジメントの歴史。プログラムとプロジェクトの関係。
3	プログラム/プロジェクト失敗の要因と成功のポイント、プロジェクト組織とプロジェクト・マネジャーの役割 プロジェクトマネジメントの知識体系ガイド(PMBOK)の概要
4	スコープ・マネジメント：プロジェクト憲章、スコープ定義とWBS(ワーク・ブレイクダウン・ストラクチャー)
5	タイム・マネジメントの概要：スケジュールの重要性とその作成・表現方法
6	タイム・マネジメント：プロジェクトスケジュールの作成演習
7	コスト・マネジメントの概要：コスト見積りとコントロールの技法。コスト見積り演習
8	品質マネジメントの概要：品質保障の重要性と品質管理、品質管理の技法、品質マネジメントの事例（ソフトウェア開発における品質特性、品質マネジメント事例）
9	その他のマネジメント（リスク、コミュニケーション、ステークホルダ等）。総合演習の準備
10	ケースによるプログラムマネジメント総合演習&討議（まとめ）
授業方法/Method of instruction	
e-Learningで講義を視聴し、レポートを提出する。	
成績評価方法/Evaluation	
レポートによる評価。	
参考書/Reference books	
<p>日本プロジェクトマネジメント協会編、「改訂3版 P2Mプログラム&プロジェクトマネジメント標準ガイドブック」、 日本能率協会マネジメント協会 関哲朗 編、「すぐわかるプロジェクトマネジメント」、日本規格協会</p>	